

貧酸素水塊速報 (2017年)

【発行】○ 千葉県水産総合研究センター
 神奈川県水産技術センター
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 東京都環境局
 (国)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成29年5月18日観測結果

貧酸素水塊は、内湾北部を中心に分布し、千葉や市原の岸近くまで押し寄せています(図1)。

縦断ラインでの鉛直分布では、先週に比べ、溶存酸素量2.5mL/L以下の海域が広がり、また厚みも増してきています(図2, 3)。

水温は表層17~18℃, 底層14~15℃です。

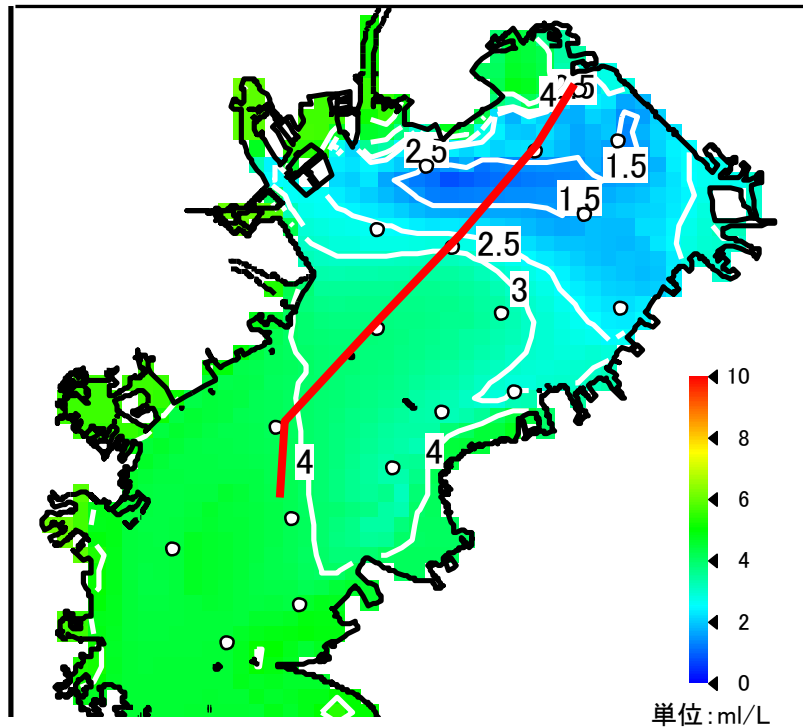


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

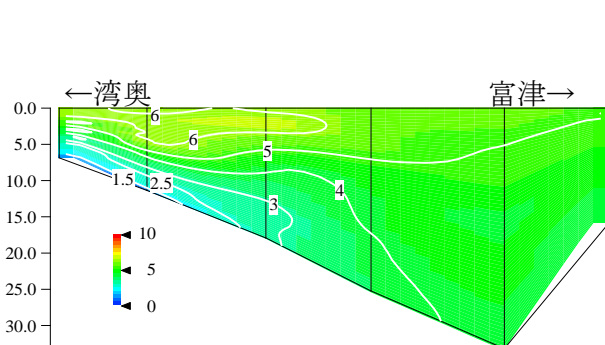


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

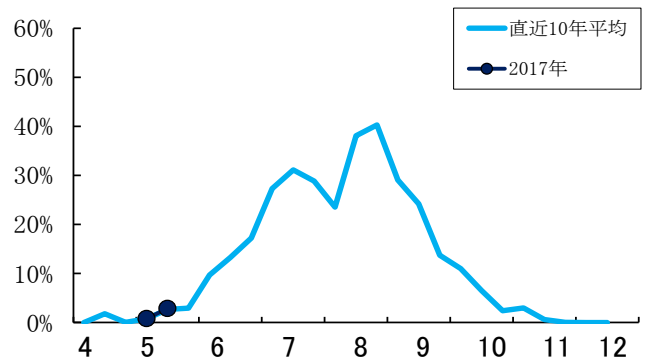


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)